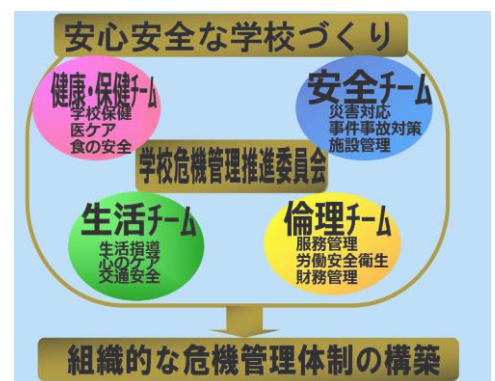


学校安全に関する本校の取組について、通信として紹介していきます。

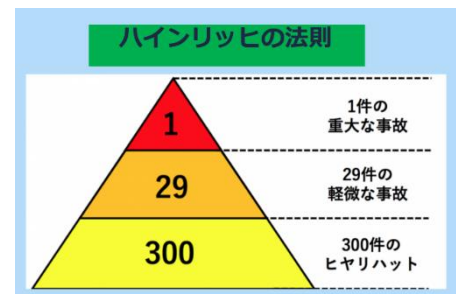
本校は、2021年度から、安全安心な学校づくりに向け、危機管理の目標や方針を共有できるよう、校務分掌を整理し、全職員で組織的に危機管理が行うことができるよう危機管理推進委員会を発足した。

その分科組織として「健康・保健チーム、安全チーム、生活チーム、倫理チーム」の4つのチームを構成し、それぞれの分掌で行っていた危機管理をチームで行うことでより組織的な取り組みの構築を行った。推進委員会では、スケジュールを確認し、そのあと危機管理として、各チームで予想されるリスクやクライシスを洗い出し、その対応策をチームのみんなで考え、全体に情報共有を行っている。各チーム、リスクマネジメント、クライシスマネジメントを意識し、それぞれの活動や校務に取り組み、PDCAサイクルのもと、改善を図りながら学校危機管理の推進を行った。現在は、学校安全推進委員会に名称変更し、全職員で年間を通して取り組んでいる。



※きっかけはハインリッヒの法則。それぞれの分掌でヒヤリハット事例が発生しそれぞれで対応していた。

学校全体として、ヒヤリハット事例が蓄積していく中で、情報の共有や過去のヒヤリハット事例の教訓から防ぐことのできた事例もあったことから組織的な危機管理体制づくりを考えるきっかけとなった。



学校安全推進研修会

8月28日（月）に学校安全推進研修会を開催した。参加者は、本校職員・市内小中学校の教職員合わせて50名で、「安全安心な学校づくり～リスクマネジメントとクライシスマネジメントの視点から～」をテーマに、大阪教育大学教授、学校安全推進センターの瀧野揚三先生にご講演いただいた。学校安全をつくりあげるために①教訓を生かした取組み。②3段階の予防の考え方。③リスクへの対応。④積極的準備の視点で講演とワークショップを行い、市内の小中学校の先生方と意見を交わしながら、共に学校安全について意識を高めることができた。



SPS（セーフティープロモーションスクール）認証式

セーフティープロモーションスクールとは、WHOの国際ナショナルセーフスクール（ISS）の考え方を参考に「自助・共助・公助」の理念のもと、わが国独自の学校安全の考え方を基盤とする包括的な安全推進を目的として構築された取組である。

本校では、昨年度セーフティープロモーションスクールの理念となる「7つの指標」に基づいて、学校独自の学校安全（生活安全・災害安全・交通安全）の推進を目的とした中期目標・中期計画を明確に設定し、その目標と計画を達成するための組織の整備とS（方略）-PDCAS（共有）サイクルに基づく実践を行い、認証申請書にまとめ、セーフティープロモーションスクールに認証された。

そして、今年度、6月9日金曜日に、本校でSPS（セーフティープロモーションスクール）の認証式を行った。



今後は、新たにSPSサポーターとして認定された児童生徒を中心に、児童生徒が主体的となる学校安全の取り組みの推進や中期目標・中期計画に向け、学校安全推進委員会を中心に全職員で組織的にPDCAサイクルを基に実践し、それを市内へと発信し共有していきたい。

大阪教育大学附属池田小学校視察

8月1日火曜日に、大阪教育大学附属池田小学校に視察に行った。当時の不審者侵入による被害を知る校長先生より、当日の不審者や教職員の動きや被害の様子について、また、その後の子どもや保護者ケアの対応について、不審者対応訓練をはじめ、職員の学校安全への意識の変化や侵入に気づき早期対応できる仕組みづくり等、多岐にわたってお話を伺った。児童たちへの安全教育についても概要の説明を受け、その後、現在の校舎を見学した。安全確保のための設備や心理的な安全の確保、安全への思いが込められたモニュメントや児童が集う楽しい場所として形を変えた施設等を見学することができた。

亡くなった8名の児童の名前が刻まれた

「祈りと誓いの塔」にお花を供え、鐘を鳴ら

して、お互いの学校が安全で安心して過ごす

ことができるよう祈りを込めた。

